

伴走支援と連携によるこれからの京都産業を担う中小企業創出事業 2025年4月～2028年3月実施予定（公益財団法人京都産業21）

【課題】

物価上昇や原材料費の高騰に加え、人手不足などの現在の課題対応に加え、EV化や、DX・GX等の進展、さらには人口減少による需要や雇用への影響など、地域の経済社会が大きく変容する中で、中小企業が事業を継続するための課題が山積



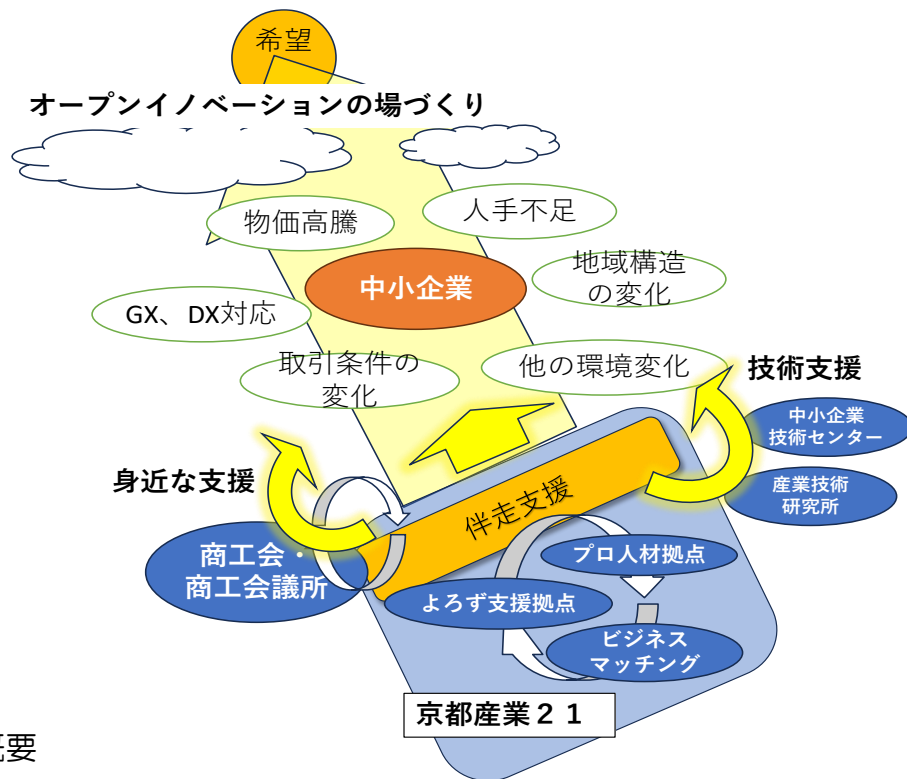
【目的】

中小企業自らが持つ自己変革力と潜在力により活路を見出すことができるよう、他の支援機関の力も借りながら経営力再構築伴走支援を進めるとともに、地域内に企業が夢を持って事業に取り組める成長の「場」づくりを進めることで、地域中小企業の「元気づくり」づくりを行い、ひいては次代の地域産業を担う企業を創出する



【都道府県の施策との連携・親和性】

京都府が進める中小企業の生産性向上への取り組みやスタートアップエコシステム構築、「産業創造リーディングゾーン」整備の一部を担っており、これらの事業との相乗効果を図りながら本事業を実施する



事業概要

■実施事業（事業費総額 150,880千円）

（伴走支援と連携による計画策定とビジネスマッチングの実施）94,600千円

- 伴走支援による中小企業の事業計画策定支援
- マッチングイベントを活用した伴走支援の推進

（グローバルなオープンイノベーションの「場」づくりの推進）56,280千円

- 画期的な製品アイデア創出に向けた交流の「場」づくりの推進
- スタートアップの都としての「場」づくりの推進

（各事業の推進における京都産業21内部及び外部との連携）

- 産業21の内部機関である「よろず支援拠点」「プロフェッショナル人材拠点」や、外部機関である各商工会・商工会議所や府市の公設試験研究機関との密接な連携による伴走支援の強化

【成果目標】

○直接的成果目標

- ・計画策定件数 200件
- ・マッチング件数 10,107件
- ・イベント集客件数 30,220人
- ・地域産業を担う企業の創出件数 20件

○間接的成果目標

- ・従業者1人当たりの付加価値額（製造業）



【波及効果】

地域産業を担う成長企業の創出と、経済交流の「場」づくりによる地域内での取引活性化を推進することで、多数の中小企業の売上拡大と雇用創出が期待できる。



【将来の支援目標】

地域産業の核となる産業集積を形成し、地域中核企業を創出するとともに、企業取引の活性化を推進。